## 活動レポート

### 北海道スタンダード研究委員会

文責:北海道スタンダード研究委員会広報部長 米川 康

# ~「ベトナム人観光客の誘致と北海道のホスピタリティ」 を考える~ 第6回ワークショップを開催しました

#### 1. ワークショプ開催概要

北海道スタンダード研究委員会では、第6回ワークショップ(WS)を開催しました。WSの開催概要を以下に報告します。

#### (1)第6回WSの概要

日 時: 令和元年10月4日(金) 18時~20時30分

場 所:TKP 札幌駅カンファレンスセンター 参加者:17名(会員:10名、非会員:8名)

ゲスト:ベトナム留学生4名

講師&ファシリテーター:三城 雄児氏

(株式会社 JIN-G 代表取締役、グローバル組織人事 戦略コンサルタント)

ワークショップ内容:本気でベトナムの学生を北海 道に呼ぼう!(講義・説明とワークショップを繰り 返し、ドリームパンフレットを作り上げる)

※以前のワークショップ(マンダラート等)で練り上げた「ベトナムの学生を北海道に呼ぼう!」(北海道のファンになってもらおう)を深掘りする内容としました。

#### 2. ワークショップ事前講義

三城氏によりドリームパンフレットの作成方法を 学びました。

#### (1)ドリームパンフレットとは

ドリームパンフレットの作成方法はシンプルです。ベトナムの学生が、パンフレットを見てこのサービスなら絶対北海道に来たい・体験したいと思うようにベトナム人の気持ちになって(主語をベトナム人にする)作成します。

見た瞬間に買いたい!と思わせるドリームパンフ

レットを作ることが目的です。そのためには、どんな人におすすめか、どんな良いことがあるかなど、参加者の声や before ~ after の事例を盛り込むと良く、ドリームと名がついているように、未完成のサービスでも良いので配布する将来を想定して作成します(完全に顧客視点で作成します)。

#### (2)WS の進め方について

テーマと結論の間には、発散と収束が必要です。 まずはアイデアを沢山出し切り、多様性を持たせま す。収束の段階では、質や優先順番を考えてまとめ ます。それらの進行はファシリテーターが必要とな りますので各グループで選出します。

以下に、ドリームパンフレット作成時の要点を示します。

①why → How → what (why から始めよ!)

(目的・意義→こだわり・工夫→具体的に行う事)

- ②プロダクトアウトではなくマーケットイン(最終 ユーザーの気持ちから考える)
- ③実現可能性は後から考える
- ④議論は「発散」→「収束」
- ⑤良いファシリテーターは記憶に残らない

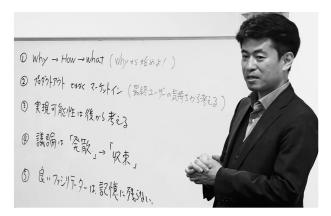


図-1 講義中の三城講師

北海道でしか味わえないものを土台として考えると良いとアドバイスを頂きましたが、①の why が明確であると iPhone のようなボタン 1 つのものが出来上がるが、what ばかりであるとボタンの沢山あるテレビのリモコンのようなものが出来上り本当の差別化にならない。三城先生が言われた「良いファシリテーターは記憶に残らない」という言葉が印象的でした。完成したドリームパンフレットとプレゼンはゲストのベトナム留学生に講評コメントを頂きました。

#### 3. WS 開始(ドリームパンフレット作り)

ベトナム人にとって、どのような言葉が響くのか。 なぜそれでないといけないのかを明確に。

#### ① Cチーム発表

触れて、感じて、同化して!

北海道を満喫してもらい、北海道の人と触れて温かさを感じてもらいたい。

留学生コメント: 札幌だけでも沢山楽しめると思います。北海道の特別なもの、例えば雪など北海道でしか出来ないことを盛り込んでほしい。ベトナム人は食べ物が大好きです。



図-2 Cチーム発表

#### ② Bチーム発表

ベトナムに帰った時に、え!?まだ北海道に行ってないの!?と言える体験をしてもらいたい。日本人でさえ知らないプレミアムな北海道を体験してもらいたい(ヘリ・二輪自動車・乗馬)。どさんこ検定で日本大使館公認パスを授与。

留学生コメント:プレゼンが面白かった。色々な考えが 盛り込まれている。北海道の特別なものは絵が欲しい。 スローガンが良い。短い言葉のキャッチフレーズがあると良いと思います。『ベトナムに戻ってから北海道のことしか話さずに彼女に振られました』と入れると良い (ベトナムの笑いのツボがある)。



図-3 Bチーム発表

#### ③ Aチーム発表

Xin Chao Hokkaido!(200万円貯めよう!) 仕事体験をして頂き北海道で安く留学できます。ベト・ナニアにようこそ!休日はお祭り体験も。 留学生コメント:仕事中心に考えられていて観光も出来るので良い企画だと思います。パンフも発表も良い。 スローガンも良い。200万円という設定は考え直した方が良い、ベトナム人から見ると嘘っぽく(詐偽?)感じる。お金は好きなので200万円は気になります。



図-4 A チーム発表

#### 4. おわりに

今後は、ドリームパンフレットをイノベーション のヒントとして現実的な話を詰めていくこととなり ます。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げるとと もに、引き続き当会にご指導・ご支援を賜りますよ うお願い申し上げます。